# 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2020/11/06

 文責：小林健明

出張報告：　第４６回九州大学法学部同窓会総会

1. 日程、場所：　2020年10月16日（金）18：30~19：30

　　　　　　受付：18：00～

　　　　　　総会：18：30～

　　　　　　幹事学年企画：18：50~19：30

　　　　　　場所：西鉄グランドホテル「鳳凰の間」

1. 総会：　18：30~18：50

　　　　　　開会の言葉　当番理事　戸田康一郎　（S61:西鉄）

　　　　　　会長挨拶　　会長　　　羽田野節夫　（S48:福岡県弁護士会）

　　　　　　法学研究院長挨拶　　　熊野直樹　　（H元年：九州大学）

　　　　　　会務報告　　事務局長　五十君麻里子（H２年：九州大学）

　　　　　　審議事項　　同上　　　同上

　　　　　　来賓挨拶　　九大学理事　河野俊行　（九大法学研究院教授）

　　　　　　総会閉会　　司会者　　加藤和輝　　（H22:西鉄）

1. 幹事学年企画（H2卒）：18：50~19：30

　　　　　　模擬オンライン授業　　五十君麻里子（H2:九州大学）

　　　　　　　　　　　　　　　　　徳本穣　　　（H2：九州大学）

1. 以下出席時の感想
2. コロナ（covid-19）禍での総会運営方法について
	1. ソーシャルデイスタンスを基本に会場は、椅子との間を十分に離した

前向きに設置大広間に100席程度準備。出席者は７０％程度。

* 1. 開会の挨拶で戸田様よりコロナ禍での開催の経緯、時間短縮案（総会のみ）

オンライン講義等工夫を凝らしたことが紹介された。

* 1. 会長挨拶で羽田野節夫様よりコロナ禍の状況下での開催可否議論を十分に

行い飲食を伴わない形での開催に踏み切ったことが冒頭で紹介された。

数々のイベント中止（入学式、サークル活動、七大戦、学祭など）の中で

自身所属していた柔道部が漸く練習が出来るようになったことの紹介。

今後の学生への支援の仕方を考えていきたいので同窓生の皆様の力を借りたい由。

1. 熊野直樹法学研究院長の挨拶では、9月30日～後期授業の再開（オンラインリモート）、ゼミ等の少数人数ケースでの対面授業が再開、学生にアンケートを取った結果について①オンライン授業７５％、②対面授業１３％、③どちらでも１２％

という結果が出た。世代が違うと考え方も異なることが実証された。

・教育研究組織の紹介で〇法学部、〇法学府（大学院）、〇法務学府（法科大学院）、〇法学研究院（教員所属の研究組織）の紹介

・最近のトピックスでは、10月に**河野俊行教授**（国際私法）が理事・副学長（国際、法務担当）に就任されたことが紹介された。

・今後の展望等で①人社系協働研究教育コモンズ、②アジアオセアニア研究教育研究機構、③地球社会統合科学府との教育連携について紹介された。

1. 総会：羽田野節夫議長選出,　以降司会者交代
	1. 各地区、支部の活動紹介、東京同窓会からは９月11日に実施した新入会員歓迎会の模様をビデオレター（H31卒2年目林直樹くん編集）にして放映して喝采を浴びた。
	2. 審議事項：五十君事務局長より

・役員交代報告・承認

・19年度決算、20年度予算案の報告・承認

・会費振り込み方法の見直しの報告・承認

　　ポイントa,郵便局+コンビニから可能にしたこと

　　　　　　ｂ、手数料を個人負担とすること

　　　　③閉会挨拶：河野俊行九大理事・副学長（10月1日就任）より九大石橋達朗総長

　　　　　　　　　　の代読

　　　　　　　　　　久保千春総長の後任：石橋達朗総長の挨拶文の代読をされた。

（令和2年10月1日~令和8年9月30日までの期間在職予定）

　　　　　　　　　　石橋達朗総長：S50九大医学部卒、九大医学博士

1. 学年幹事イベント：H2卒幹事学年の企画「オンライン講義」デモの紹介

五十君教授による「古代ローマ二重労働供給システム」講義中継実施

オンライン講義の仕組み紹介は、徳本穣教授より紹介があった。

学生の反応いくつか

　　　　　　・東京からH2卒同期の田中博子次長が参加して、オンライン講義の遠隔地に

於いても受講可能な点が良い。

　　　　　　・1年生受講者：顔が見えないグループ研究等が課題

　　　　　　・2年生受講者：昨年の対面講義を受講しているのでオンライン講義との比較

　　　　　　　が出来る。効果は同じと考える。

　　　　　　・3年生受講者：オンライン講義賛成、大学に通う時間が省略できる。生での

　　　　　　　触れ合いがないと思っていたが、オンラインでも表情が確認できるので

　　　　　　　不便さは感じない。

　　　　コロナ禍が沈静化した後でもオンライン授業の利点を生かした講義運営になる

　　　　兆しとなるのではないでしょうか。　　　　　　　　　　　　　　　以上。